



令和6年度 第11号
令和6年6月12日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

運動会大成功！一人一人が主役の運動会になりました。皆様、応援ありがとうございました。



令和6年度の運動会も無事に終了することができました。この号に掲載されている写真をご覧いただければわかりますが、こどもたちは、大変頑張っておりました。まさにスローガン通りの「一人一人が主役の運動会」になったのではないかと自負しております。一人一人のこどもが、「主役」として自分らしさを発揮することできたことを大変うれしく思います。校長として、これ以上の喜びはありません。これも、各ご家庭でのご支援や励ましがあってのことと感謝を申し上げる次第です。

今回で4度目の本荘小運動会になりますが、毎年、幸せな思いをさせてもらっています。小規模の学校ににしかないよさがあるとよく言われますが、実はそんなに数は関係ないのだと思っています。写真の1コマ1コマにこどもたちの一生懸命な姿が刻まれています。1000人だろうが、500人だろうが100人だろうが、総人数は関係ないのです。その一瞬にこどもたちの輝く姿がどれだけあったか、そこが大切なのだと思います。玉入れをがんばっているこども、フラッグに自分の想いを込めて振り抜いている姿、1年生から6年生の全てのこどもに主役だった瞬間がありました。(裏面へ)

本荘っ子の一人一人がその瞬間に完全燃焼している姿が、見ていた私たちの感動を呼んだのだと思います。来賓の皆様も、「とてもよかった。」「見にくることができるようになってうれしかった。」と口々に語って下さいました。お隣の春竹小の校長先生も「本荘小の運動会って素晴らしいですよ。」と語って下さいましたし、江原中学校の大森校長先生も「まだ入学したての小さな1年生から6年生までが一体になった運動会でした。おどろきました。」と、ほめて下さいました。参観された皆様のお声を真摯に受け止め、これからも子どもとともに本荘小の教育を高めていきたいと改めて誓った校長先生でした。

もう一つ忘れてならないのは、この運動会の大成功の裏には、最高学年である6年生のがんばりと担任の先生をはじめとする教師集団の努力があったということです。秋から春に戻った運動会、それは期間の短さだけでなく、これまで以上のリーダーシップが要求された運動会でした。その大きな課題をクリアしてくれた子どもたち、先生方には大きな拍手を送りたいと思っています。

運動会は終わり、「兵どもが夢のあと」的な気分になりそうですが、これからは夏に向けて水泳学習も始まります。これからも一層、安心・安全な学校を目指し本荘小はがんばります。よろしくお願ひ致します。(校長) ※運動会で撮りためた膨大なナイスショットな写真の数々をどうしたらよいか悩み中の校長です。よいアイデアあれば教えてください(笑)

校長先生の虫眼鏡「運動会のスナップから」

校長、教頭、下原先生と3人のカメラマンを用意した運動会でしたが、ここでは校長カメラの一部をご紹介します。(^-)-☆

